

令和7年度三重県沿岸種資源評価 ハマグリ

資源水準・動向

高位・増加



生物情報

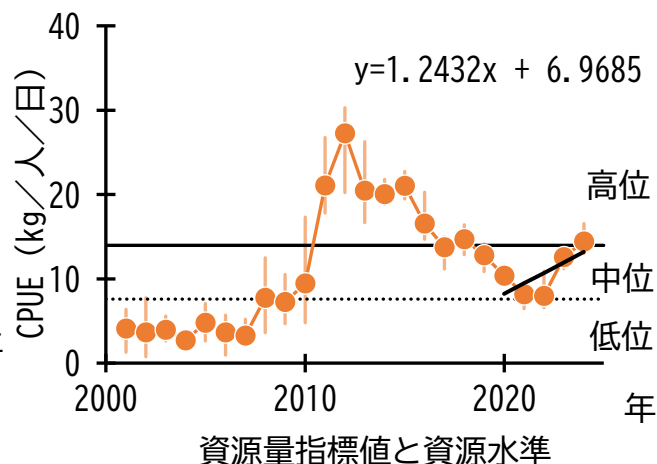
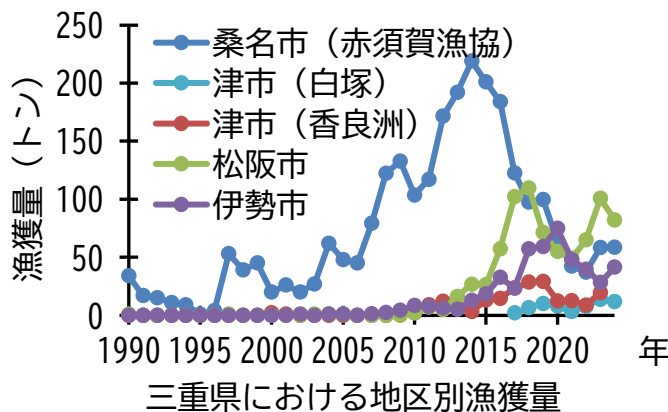
- ・内湾の砂泥底に潜って植物プランクトンをろ過して食べる。
- ・最小成熟殻長は2cm程度。伊勢湾での産卵盛期は8月。
- ・約3歳で殻長4cm前後となるが、成長は個体差が大きい。
- ・寿命は10年以上。
- ・粘液糸を出し、潮流を利用して移動する。

漁業の特徴

- ・本県では主に伊勢湾で漁獲されており、小型機船底びき網、じょれんで漁獲される。
- ・漁期は周年で、潮間帯～水深3m程度が漁場となる。
- ・漁獲対象となるのは殻長3cmより大きい個体であるが、近年では各地区とも殻長6cm程度以上の大型貝を中心に水揚げしている。
- ・桑名地区では再放流サイズの小型貝も多いが松阪地区ではほとんど見られない。
- ・漁獲量は桑名地区が多かったが近年では南部の松阪地区が多い。各地区とも殻長制限および操業時間あるいは漁獲量の制限を資源状態に応じて運用している。

資源状態

- ・桑名地区赤須賀での銘柄「大」以上の1人1日あたりの漁獲量にもとづいて、資源水準は「高位」、資源動向は「増加」と判断した。



資源管理の取組

- ・漁獲量制限、休漁日の設定、殻長制限、移植放流、種苗放流

将来考えられる資源管理の取組

- ・操業自粛区域の設定、漁獲量制限の強化、殻長制限の強化、種苗放流